

令和3年度 学校法人マリア学院倉敷マリア・インマクラダ幼稚園 自己評価

1 本園の教育理念・教育方針

教育理念：【知性の源を育む】

- 教育方針：① 宗教教育：神さまと周りの人たちから愛されていることに気づく
② モンテッソーリ教育：幼稚園生活の経験を通して自分自身が好きになる
③ 平和教育：集団生活の出会いと関わりを通して神さまと周りの人を大切にする

2 本年度 年間目標（テーマ）

みんなでいっしょに げんきなからだ・げんきなこころ

3 本年度 重点的に取り組む目標・計画

- ・3-6歳クラスと未就園児クラスの教師間の連携を深め、入園へとスムーズに繋げていけるように共通理解や協力体制を強化していく。
- ・園での日常生活のすべてが、『お仕事』であり、子ども達の主体性に基づいたものとなる。
- ・家庭との連携を重ね保護者との信頼関係を構築し、子ども達の成長に対する共通意識を深める。
- ・防災対策として、園舎の耐震対策を具体的に進めていく。

4 評価項目の達成および取り組み状況

宗教教育	<ul style="list-style-type: none">・生活の中で、祈りや聖歌や絵本『こどものせかい』のメッセージ等を通して、子ども達が喜んで宗教的な体験ができるように工夫した。・園生活の関わりを通して、子ども達はお互いを認め合い、祈り合う経験をしている。教師同士も子ども達に倣い、違いを受容し認め合いながら、よりよい保育環境を築いていけるよう心がけた。
モンテッソーリ教育	<ul style="list-style-type: none">・モンテッソーリ教育が最も大事にしている根本理念について理解を深め、日々のお仕事を通して子ども達が自立し正常化していく様子を観察した。・子ども達一人ひとりの内的欲求・興味関心に沿った環境準備を心がけた。
平和教育	<ul style="list-style-type: none">・縦割クラスの中で、一人ひとりの子ども達が自分の居場所を見つけ、安心して過ごせるよう配慮した。・折に触れ、世界や地域の困っている人達のことを知らせる機会を意識的に作ることにより、子ども達が自ら考えてできることや手伝いを行っている。
保護者対応	<ul style="list-style-type: none">・保育参観や個人懇談等で保護者と話す機会において、共通理解や情報共有に努めるようにした。・年間行事（運動会・園外保育・子どもの祝福式・クリスマスお祝い会等）を通して、子ども達の成長を共に見守り喜びや心配事などを共有するよう心がけた。
安全管理	<ul style="list-style-type: none">・子ども達に防災について知らせるとともに、定期的に防災訓練を実施することができた。

	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの日々の健康状態を把握し、適切な対応・連絡・報告・経過打診を行うようにした。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> • 未就園児クラス、3-6歳クラスの保護者の相談を受け入れ、育児への提案や助言等を行った。 • 預かり保育の充実に向けて、環境の見直し、人的配置等に取り組んだ。
学校・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> • 園周辺の地域の方々に対して、日々の関わりの中で接点をもつように心がけ、常に感謝の気持ちを表わすように心がけた。 • 幼小連絡会、電話連絡等には積極的に参加し、子ども達について具体的な情報交換ができるようにした。

5 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- コロナ禍で集会などの制限はあったが、園の教育理念・教育目標を少人数ごとの入園説明会やオープンスクールなどの機会に、保護者に伝えるように心がけ、実施することができた。
- 日々の職員朝礼や終礼、会議、研修等の中で、教育理念や教育目標についての確認や話し合いの機会を増やすことにより、職員間の共通理解や意思疎通が大変スムーズになった。

今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> • 宗教、モンテッソーリ、平和の3本柱を関わるすべての教員(非常勤・パート勤務含む)が理解し、共に実践していけるようにコミュニケーションの機会を増やす。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> • 保護者の方の要望を把握しながら、必要に応じて臨床心理士等専門家による子育て相談やカウンセリングの場を設けていく。
卒園後の関わり	<ul style="list-style-type: none"> • 卒園後も会報等を通して、保護者同士の情報を分かち合う機会を設ける。 • 卒園後もお仕事や季節行事に参加できる機会を提供する。

7 学校関係者の評価

保育内容評価について学校関係評価委員14名の意見を集約

- 担任の先生はもちろん、園のすべての先生が一人ひとりの子どものことを理解し、把握して丁寧に関わってくれているのが、伝わってくる。
- 子どものペースや気持ち、意見などをいつも尊重してくれるので、子どもは幼稚園の環境が居心地良く楽しい場所だと感じ、安心して園生活を送っている。
- 宗教的なメッセージを受けている子どもは、とても素直に優しく成長してると感じている。
- 子どもが自分で選び、考えていろいろなお仕事に取り組むことで、自信につながっている。また、自分の考えや意見をはっきりと言葉で伝えることができるようになり、大きな成長を感じている。
- コロナ禍で、集会などが制限され、なかなか直接園からの話を聞くことができなくて残念だったが、お便りやZOOM配信等様々な方法で、発信してくれて有難かった。

8 財務状況

- 公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。